

2025年日本アイソトープ協会奨励賞

受賞者及び授賞理由、選考委員名簿

(五十音順, 所属は受賞時)



東京科学大学 総合研究院
ゼロカーボンエネルギー研究所

島田 幹男氏



国立研究開発法人 産業技術総合研究所
計量標準総合センター 分析計測標準研究部門

満汐 孝治氏

受賞者

東京科学大学 総合研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所

助教 島田 幹男氏 (生年: 1981年)

研究業績名

放射線依存的な細胞内小器官中心体異常とゲノム不安定性発症機構の解明

授賞理由

島田幹男氏は、放射線の生物影響について中心体に着目した独創的な研究を進め、放射線による中心体の過剰複製が細胞死の原因となることを発見した。さらにこの発見を根拠にした放射線防護法についての研究を進めるなど、発展的な展開も推進している。また、環境放射線の影響を一般の方々に正確に伝える活動にも携わっており、社会貢献の観点からも評価できる。

以上より、同氏の研究および活動は、放射線影響分野の発展および放射線影響の一般への理解促進に大きく貢献するものであり、本奨励賞に相応しいと判断した。

受賞者

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 分析計測標準研究部門

主任研究員 満汐 孝治氏 (生年: 1986年)

研究業績名

高品質ポジトロニウムビーム発生技術の開発

授賞理由

満汐孝治氏は、ポジトロニウム(Ps)の負イオンを利用した高品質ポジトロニウムビームの発生技術を開発した。満汐氏は、特にポジトロニウム負イオンの光脱離を利用したPsビーム発生法とエネルギー可変の取り出しに成功し、加えて、ポジトロニウム負イオンを放射性同位体からナノ秒パルス化した陽電子ビームを安定的に取り出す手法や、偏光を利用した運動量制御技術の開発などにも成功し、開発の成果は多岐にわたっている。同氏の研究開発の成果は、ポジトロニウムを探針とする技術の発展に寄与し、ポジトロニウムと物質との相互作用の解明や様々な応用研究に広がるのが期待される。

以上より、同氏の研究はアイソトープ・放射線利用の拡大発展に多大な貢献をするものであり、本奨励賞に相応しいと判断した。

2025年日本アイソトープ協会奨励賞候補者選考委員会

委員長 : 門叶 冬樹 山形大学 理学部
副委員長 : 小川美香子 北海道大学大学院 薬学研究院
委員 : 阿部光一郎 東京医科大学 放射線医学分野
坂下 哲哉 量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所
末木 啓介 筑波大学 放射線・アイソトープ地球システム研究センター
山内 基弘 九州大学 アイソトープ統合安全管理センター
山本 誠一 早稲田大学理工学術院総合研究所

(計7名, 所属は授賞時)